

委員会レポート―視察報告―

3 常任委員会で県外行政視察を実施しました。

空き家対策と自治体ライドシェア

石川県能美市

能美市の空き家は773件。特定空家等は9件、うち4件は所有者が解体、3件は略式代執行※、2件は略式代執行予定。

空き家等の解消と土地の流通のため、「空き家寄附受け補助事業」を開始。所有者から寄付を受け、市が第三者に流通させており、斬新である。※略式代執行：所有者等が特定不能場合、行政が措置すること

石川県小松市

夜間のタクシー不足を解消するため、「小松市ライドシェア」を令和6年2月より運行を開始した。運行日は木・金・土曜日、運行時間帯は17時から24時、運賃はタクシー料金の80%、ドライバ―月額報酬は約7万円。東浦町のニーズに合致したライドシェアやデマンド交通を早い段階で導入できるように研究を深めていきたい。

R6.7.2 大和市



県外視察

文教厚生委員会

R6.7.3 伊勢原市



おひとりさま支援と孫育て支援を調査

神奈川県大和市

増加が見込まれる高齢独居者の支援先進地で「終活支援事業」「おひとりさま支援事業」を実施している。クイズやイベントを活用した終活支援や、漫画等を使った「生活お役立ちガイド」等、参考となる取り組みが多かった。「人生の最期をいかに安心して迎えられるか」という市の姿勢は、学ばべきものがあると感じた。

神奈川県伊勢原市

新生児訪問等での母親の声を受けて、平成30年から「はじめての孫育て教室」を開催している。内容は、オリエンテーション、子育ての今昔クイズ、マタニティブルーと産後うつ、沐浴実習等である。現在は年2回実施し、両親、祖父母からも好評を得ている。子育て世代にとっても、祖父母世代にとっても、有効な事業であると感じた。

連携協定・DXと地震・津波等災害対策

ソフトバンク株式会社

本町と包括連携協定が締結されたことから視察。社内でのパーレスを実現。クラウド上の文書が確認できる体制で、テレワークが可能。

モビリティサービス企業の紹介では、町運行バス「つ・ら・ら」を併用したデマンド交通、災害対応や出張期日前投票ができるマルチタスク車両の導入で、住民サービスが向上できると感じた。

静岡県沼津市

南海トラフ地震で大きな被害が想定される沼津市の災害対策を調査。津波到達時間が極めて短い地域だからこそ「人的被害の最小化」を目標に取り組んでいる姿勢が強く感じられた。

また、意識の高さから防災訓練・避難訓練災害情報共有システム、被災者支援システムの導入に多くの時間をかけていると説明を受けた。

R6.10.7 能美市



県外視察

経済建設委員会

R6.10.8 小松市



R6.10.23 ソフトバンク株式会社



県外視察

総務委員会

R6.10.24 沼津市

